

福岡市の学校

～平成14年度学校基本調査結果速報～

福岡市における平成14年度の学校基本調査（指定統計第13号 所管：文部科学省）の結果がまとまりましたので、その概要を紹介いたします。なお、今回紹介する数値は速報値であり、後日文部科学省から公表される確報値とは異なることがあります。

1. 学校基本調査とは

学校基本調査は学校教育行政に必要な学校（小学校，中学校，高等学校，中等教育学校，盲学校，聾学校，養護学校，大学，高等専門学校，専修学校及び各種学校）に関する基本的事項を明らかにすることを目的とし，昭和23年度より毎年5月1日現在で実施されている調査です。

2. 幼稚園の概況

前年度に比べ園数は減少したが，園児数は増加

平成14年度の幼稚園数は131園で，前年度に比べ2園減少しており，平成9年度以降では，平成11年度を除くと，一貫して減少しています。

園児数は19,459人（男子9,852人，女子9,607人）で，前年度に比べ294人増となっており，平成元年度以降減少傾向にありましたが，増加に転じました。園児数を年齢別に見ますと，3歳児が4,75

4人（全園児の24.4%），4歳児が7,264人（同37.3%），5歳児が7,441人（同38.2%）となっており，4歳児が平成11年度以降，5歳児が平成12年度以降減少している中，3歳児は平成12年度以降増加しています。

教員数は1,189人で，前年度に比べ31人増となっており，平成9年度以降では教員数，増加数とも最も多くなりました。男女別に見ますと，男は69人と前年度に比べ2人増，女は1,120人と前年度に比べ29人増となっており，男女とも平成9年度以降では最も多くなっています。

職員数は210人で前年度に比べ12人減となっており，平成9年度以降毎年減少しています。

3. 小学校の概況

児童数が増加に転じる

平成14年度の小学校数は148校で，平成10年度以降その数は変わっていません。児童数は74,758人（男子38,100人，女子36,658人）で，前年度に比べ139人増と，昭和58年度以降毎年減少していましたが，増加に転じました。学年別に見ますと，第2，5学年以外は前年度に比べ減少しましたが，第2学年が562人，第5学年が214人増となったため，全体的には増加するという結果となりました。学年別の児童数を平成9年度と比べますと，第1，2学年以外はどの学年も減少してお

表1 幼稚園の概況

年度	園数	在園者数						教員数			職員数
		計	男	女	3歳	4歳	5歳	計	男	女	
平成9年度	137	20,310	10,331	9,979	4,378	7,815	8,117	1,141	54	1,087	239
10	136	19,914	10,118	9,796	4,445	7,607	7,862	1,152	62	1,090	236
11	136	19,785	9,997	9,788	4,288	7,784	7,713	1,161	65	1,096	235
12	134	19,452	9,896	9,556	4,276	7,374	7,802	1,137	59	1,078	240
13	133	19,165	9,695	9,470	4,325	7,325	7,515	1,158	67	1,091	222
14	131	19,459	9,852	9,607	4,754	7,264	7,441	1,189	69	1,120	210

教員数は本務者のみ。以下の表についても同じ。

表2 小学校の概況

年度	学校数	児童数									教員数
		計	男	女	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	
平成9年度	151	79,535	40,536	38,999	12,397	12,566	13,049	13,213	14,019	14,291	3,446
10	148	77,672	39,539	38,133	12,446	12,364	12,546	13,066	13,236	14,014	3,346
11	148	75,988	38,683	37,305	12,432	12,450	12,320	12,535	13,057	13,194	3,314
12	148	74,923	38,186	36,737	12,179	12,439	12,447	12,292	12,540	13,026	3,307
13	148	74,619	38,042	36,577	12,726	12,214	12,378	12,456	12,272	12,573	3,320
14	148	74,758	38,100	36,658	12,561	12,776	12,220	12,422	12,486	12,293	3,329

り、特に第6学年は、平成9年度では児童数は一番多かったのですが、平成14年度では第3学年に次いで二番目に少なくなっています。

教員数は3,329人で前年度に比べ9人増と2年連続の増加となっています。

教員1人当たりの児童数（児童数/教員数）は平成14年度で22.5人となっており、平成9年度の23.1人と比べ0.6人減少しています。

3. 中学校の概況

生徒数は引き続き減少

中学校数は83校で平成12年度以降その数は変わっていません。

生徒数は39,861人（男子19,914人、女子19,947人）で、前年度に比べ1,386人の減少となっており、昭和63年度以降減少が続いています。生徒数を学年別に見ますと、第1学年が12,945人（前年度

比427人減）、第2学年が13,389人（同111人減）第3学年が13,527人（同848人減）となっており、特に第3学年の生徒数の減少が目立ちます。学年別の生徒数を平成9年度と比べますと、第1学年は2,224人減、第2学年は1,944人減、第3学年は2,030人減となっており、第1学年の減少が一番大きくなっています。

教員数は2,213人（男1,282人、女931人）で、前年度に比べ14人減少しています。教員1人当たりの生徒数は、18.0人で平成9年度（19.2人）に比べ1.2人減少となっています。

また、職員数は前年度に比べ2人減少し、249人となっています。

4. 高等学校の概況

全日制生徒数は減少が続くも定時制生徒数は増加

高等学校数は41校で平成9年度以降そ

図1 年度別園児、児童、生徒数の推移

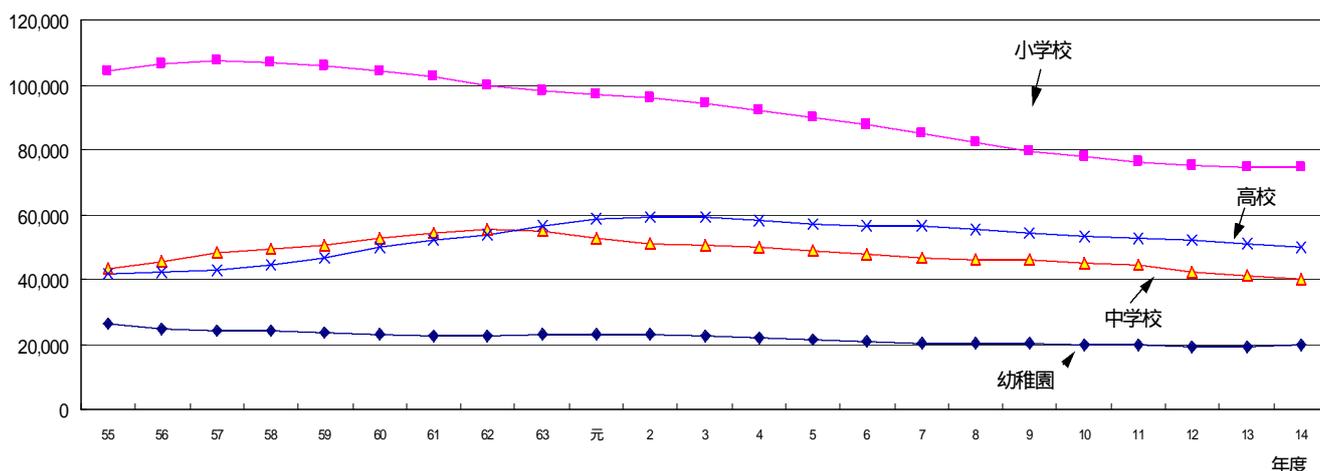


表3 中学校の概況

年度	学校数	生徒数						教員数			職員数
		計	男	女	1学年	2学年	3学年	計	男	女	
平成9年度	81	46,059	22,948	23,111	15,169	15,333	15,557	2,394	1,372	1,022	255
10	81	45,185	22,575	22,610	14,591	15,206	15,388	2,378	1,372	1,006	259
11	82	44,153	22,118	22,035	14,339	14,590	15,224	2,362	1,358	1,004	258
12	83	42,393	21,320	21,073	13,472	14,346	14,575	2,279	1,324	955	258
13	83	41,247	20,648	20,599	13,372	13,500	14,375	2,227	1,290	937	251
14	83	39,861	19,914	19,947	12,945	13,389	13,527	2,213	1,282	931	249

表4 高等学校の概況

年度	学校数				生徒数				教員数			
	計	全日制	定時制	併置	計	本科		専攻科	計	全日制	定時制	
						全日制	定時制					
平成9年度	41	35	1	5	54,052	53,191	861	86	2,701	2,599	102	
10	41	35	1	5	52,932	51,924	1,008	98	2,648	2,550	98	
11	41	35	1	5	52,437	51,313	1,124	100	2,612	2,511	101	
12	41	39	1	1	52,116	50,958	1,158	96	2,564	2,488	76	
13	41	39	1	1	51,044	49,811	1,233	100	2,568	2,486	82	
14	41	39	1	1	49,876	48,516	1,258	102	2,532	2,448	84	

の数は変わっていません。

生徒数は49,876人で、前年度に比べ1,168人の減少となっており、平成3年度以降減少が続いています。生徒数を本科、専攻科別に見ますと、本科では全日制が48,516人（前年度比1,295人減）、定時制が1,258人（同25人増）、専攻科では102人（同2人増）となっており、全日制の生徒は平成9年度以降減少しているのに比べ定時制の生徒は逆に増加しています。

教員数は2,532人で前年度に比べ36人減少しています。全日制では2,448人（前年度比38人減）、定時制では84人（同2人増）となっています。教員1人当たりの生徒数は、全日制では19.8人（平成9年度は20.5人）、定時制では15.0人（同8.4人）となっており、平成9年度と比べると全日制は0.7人減、定時制は6.6人増となっています。

5. 大学の概況

学生数は増加傾向、女性の占める割合も上昇

大学数は12校で、前年度と同数になっています。

学生数は78,484人（男50,782人、女27,702人）で、前年度に比べ159人増（男930人減、女1,089人増）となっています。平成9年度以降を見ますと、男は毎年減少していますが、逆に女は毎年増加しています。このため、平成9年度の学生数に占める女の割合は29.3%と30%を下回っていましたが、平成14年度は35.

3%と6ポイントも増加し、3人に1人以上は女性が占める結果となりました。

学生数を国、公、私立別に見ますと、国立は17,815人（前年度比186人減）、公立は873人（同20人増）、私立は59,796人（同325人増）となっています。国立は3年連続で減少していますが、私立は平成11年度と比べ1,000人以上増加しています。

教員数は4,492人で前年度比1人増加とほぼ同数となりました。

6. 短期大学の概況

学生数の減少傾向が続く

短期大学の数は10校でこの数年変わっていません。

学生数は6,100人（男887人、女5,213人）と前年度に比べ484人減となっており、減少傾向に歯止めがかかっていません。平成9年度と比べてみますと、学生総数は3分の2以下になっています。国立、私立別に見ますと、国立は501人（前年度比3人減）、私立は5,599人（同481人減）となっており、国立の人数がほぼ500人程度で推移していることから、学生数の減はほとんど私立によるものということが出来ます。

教員数は330人で前年度に比べ10人減となっており、学生数同様減少傾向が続いています。

表5 大学の概況

年度	学 校 数				学 生 数						教員数
	計	国立	公立	私立	計	男	女	国立	公立	私立	
平成9年度	11	2	1	8	76,818	54,331	22,487	17,648	808	58,362	4,281
10	11	2	1	8	76,980	53,597	23,383	17,640	798	58,452	4,305
11	12	2	1	9	77,285	52,961	24,324	17,777	812	58,696	4,431
12	12	2	1	9	78,195	52,774	25,421	18,423	842	58,930	4,485
13	12	2	1	9	78,325	51,712	26,613	18,001	853	59,471	4,491
14	12	2	1	9	78,484	50,782	27,702	17,815	873	59,796	4,492

表6 短期大学の概況

年度	学 校 数				学 生 数						教員数
	計	国立	公立	私立	計	男	女	国立	公立	私立	
平成9年度	10	1	-	9	9,451	1,217	8,234	500	-	8,951	382
10	10	1	-	9	7,554	1,126	6,428	505	-	7,049	377
11	10	1	-	9	8,137	988	7,149	499	-	7,638	365
12	10	1	-	9	7,086	931	6,155	501	-	6,585	352
13	10	1	-	9	6,584	959	5,625	504	-	6,080	340
14	10	1	-	9	6,100	887	5,213	501	-	5,599	330

7. 中学校の卒業後の状況

高等学校への進学率は95%以上

平成14年3月の中学校卒業者は14,381人（前年比202人減）で平成11年以降4年連続の減少となりました。

卒業後の状況の内訳を見ますと、「高等学校進学者」が13,821人（前年比208人減，構成比96.1%）、「専修学校進学者」が96人（同30人増，同0.7%）、「公共職業能力開発施設等入学者」が10人（同2人増，同0.1%）、「就職者」125人（同37人減，同0.9%）、「その他」329人（同11人増，同2.3%）となっています。

高等学校への進学率は95%以上と、依然として高水準にあります。専修学校への進学者が前年に比べ大幅に増えているのが目立ちます。就職者は前年に一時的に増加しましたが、再び減少しました。

8. 高等学校の卒業後の状況

大学等への進学率は50%、進路未定者数が増加

平成14年3月の高校卒業者は16,351人（前年比51人増）で、これまで減少傾向にありましたが、増加に転じました。

卒業後の状況の内訳を見ますと、「大学等進学者」が8,232人（前年比28人増，構成比50.3%）、「専修学校進学者」4,458人（同9人増，同27.3%）、「公共職業能力開発施設等進学者」42人（同2人増，同0.3%）、「就職者」1,598人（同152人減，同9.8%）、「その他」2,021人（同164人増，同12.4%）となっています。前年と比べ「就職者」の減少と「その他」の増加が他と比べて大きな動きを見せています。不況のあおりを受け、高校卒業者の就職が一段と困難になってきている様子が見て取れます。

表7 中学校卒業後の状況

年	総数	高等学校進学者	専修学校進学者	公共職業能力開発施設等入学者	就職者	その他
平成9年3月卒業生	15,382	14,858	69	...	210	245
平成10年3月卒業生	15,575	15,049	100	...	170	256
平成11年3月卒業生	15,420	14,866	87	14	146	307
平成12年3月卒業生	15,235	14,716	75	8	108	328
平成13年3月卒業生	14,583	14,029	66	8	162	318
平成14年3月卒業生	14,381	13,821	96	10	125	329

表8 高等学校卒業後の状況

年	総数	大学等進学者	専修学校進学者	公共職業能力開発施設等入学者	就職者	その他
平成9年3月卒業生	18,022	8,939	4,732	...	2,697	1,654
平成10年3月卒業生	17,617	8,802	4,581	...	2,400	1,834
平成11年3月卒業生	17,201	8,882	4,363	28	2,144	1,784
平成12年3月卒業生	16,551	8,479	4,337	20	1,715	2,000
平成13年3月卒業生	16,300	8,204	4,449	40	1,750	1,857
平成14年3月卒業生	16,351	8,232	4,458	42	1,598	2,021

図2 中学校卒業後の状況(構成比)

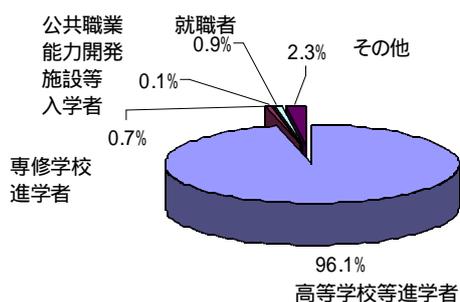


図3 高校卒業後の状況(構成比)

